

津島市 高齢者介護に関する調査

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査、
事業者向けアンケート調査)

調査結果報告書 概要版

1. 津島市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画アンケート調査結果について

<調査の概要>

本調査は、「津島市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたっての基礎資料として、また、今後の高齢者の福祉行政の基礎資料として、介護保険サービスの利用状況・利用意向や高齢者の生活実態、福祉をはじめとする各種施策の利用意向、意見・要望等を把握する目的で実施しました。

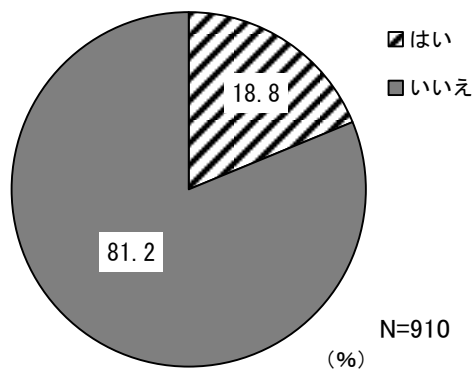
	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護実態調査	事業者向けアンケート調査
調査地域	津島市全域		
調査対象	津島市に居住する65歳以上の者のうち、要介護認定を受けていない者、要支援1・2と認定された者及び事業対象者	津島市に居住する65歳以上の者のうち、要介護認定を受けている者	津島市内にある介護保険事業所を有する法人
サンプル数	1,500人	914人	44法人
有効回収数 (有効回収率)	978(65.2%)	483(52.8%)	36(81.8%)
抽出方法	無作為抽出	全数	
調査方法	郵送配布・郵送回収		
調査時期	令和元年11～12月		

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

①外出について

- 外出を控えている人は、18.8%となっています。
- 外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が53.2%で最も高く、次いで「トイレの心配（失禁など）」(26.3%)、「交通手段がない」(24.0%)などとなっています。前回調査比で、「トイレの心配」が12.7ポイント、「交通手段がない」が7.4ポイント、それぞれ増加しています。

【外出を控えているか】



問2(8)① 外出を控えている理由

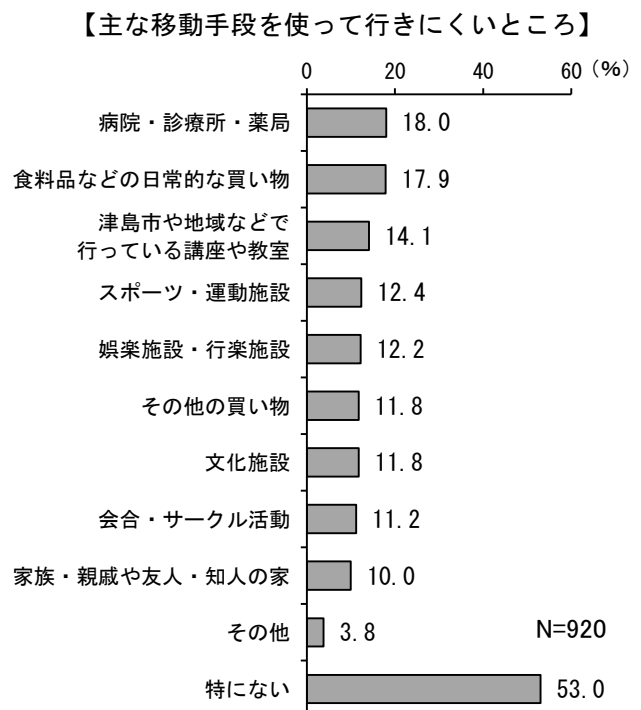
	件数	足腰などの痛み	禁煙など トイレの心配(失)	交通手段がない	病気	い外での楽しみがない	目の障がい	え耳の問題がない(聞こ)	い経済的に出られない	後遺症など(脳卒中)	障がい(脳卒中)	その他
今回調査 (R1)	171	53.2	26.3	24.0	17.0	14.6	14.0	13.5	12.9	2.3	11.7	
前回調査 (H29)	169	52.1	13.6	16.6	17.2	15.4	11.8	8.9	14.8	4.1	8.3	

- 外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」（62.9%）が最も高く、次いで「徒歩」（52.5%）、「自転車」（38.6%）、「電車」（29.7%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（27.1%）となっています。性・年齢別でみると、「自動車（自分で運転）」は65～84歳の男性で高く、「自動車（人に乗せてもらう）」は女性全体で高くなっています。また、「タクシー」「歩行器・シルバーカー」は85歳以上の男性・女性で高くなっています。

問2（9） 外出する際の移動手段

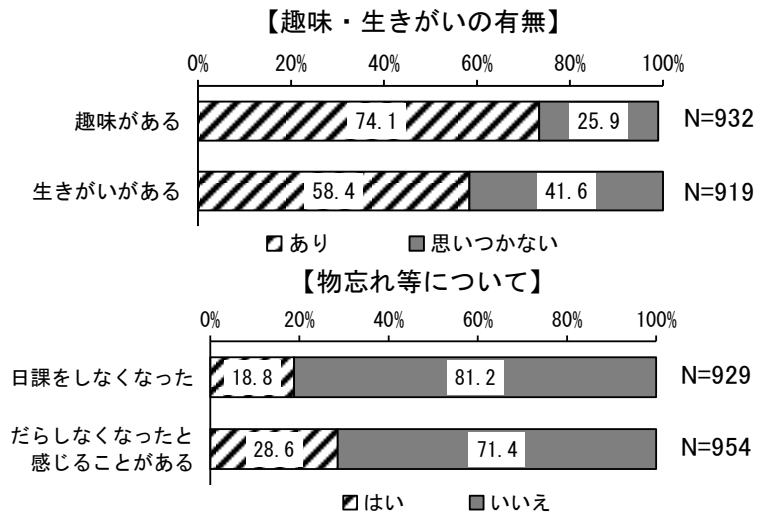
		件数	自動車（自分で運転）	徒歩	自転車	電車	自動車（人に乗せてもらう）	路線バス	タクシー	歩行器・シルバーカー	病院や施設のバイク	車いす	電動車いす（カート）	その他	
全体		955	601	501	369	284	259	140	107	20	9	8	4	41	
		100.0	62.9	52.5	38.6	29.7	27.1	14.7	11.2	2.1	0.9	0.8	0.4	4.3	
性・年齢別	男性	65～74歳	245	222	130	87	86	23	32	14	-	-	2	3	4
			100.0	90.6	53.1	35.5	35.1	9.4	13.1	5.7	-	-	0.8	1.2	1.6
		75～84歳	209	163	113	79	66	32	37	19	-	2	1	-	8
		100.0	78.0	54.1	37.8	31.6	15.3	17.7	9.1	-	1.0	0.5	-	3.8	
		85歳以上	36	14	17	16	5	9	6	9	3	1	1	-	2
		100.0	38.9	47.2	44.4	13.9	25.0	16.7	25.0	8.3	2.8	2.8	-	5.6	
女性	65～74歳	236	145	120	100	74	90	26	21	1	-	3	-	9	
		100.0	61.4	50.8	42.4	31.4	38.1	11.0	8.9	0.4	-	1.3	-	3.8	
	75～84歳	186	54	104	77	49	82	30	34	8	5	1	-	13	
	100.0	29.0	55.9	41.4	26.3	44.1	16.1	18.3	4.3	2.7	0.5	-	7.0		
	85歳以上	43	3	17	10	4	23	9	10	8	1	1	-	5	
	100.0	7.0	39.5	23.3	9.3	53.5	20.9	23.3	18.6	2.3	-	2.3	11.6		

- 主な移動手段を使って行きにくいところは、「病院・診療所・薬局」（18.0%）、「食料品などの日常的な買い物」（17.9%）、「津島市や地域などで行っている講座や教室」（14.1%）、「スポーツ・運動施設」（12.4%）、「娯楽施設・行楽施設」（12.2%）の順で高くなっています。



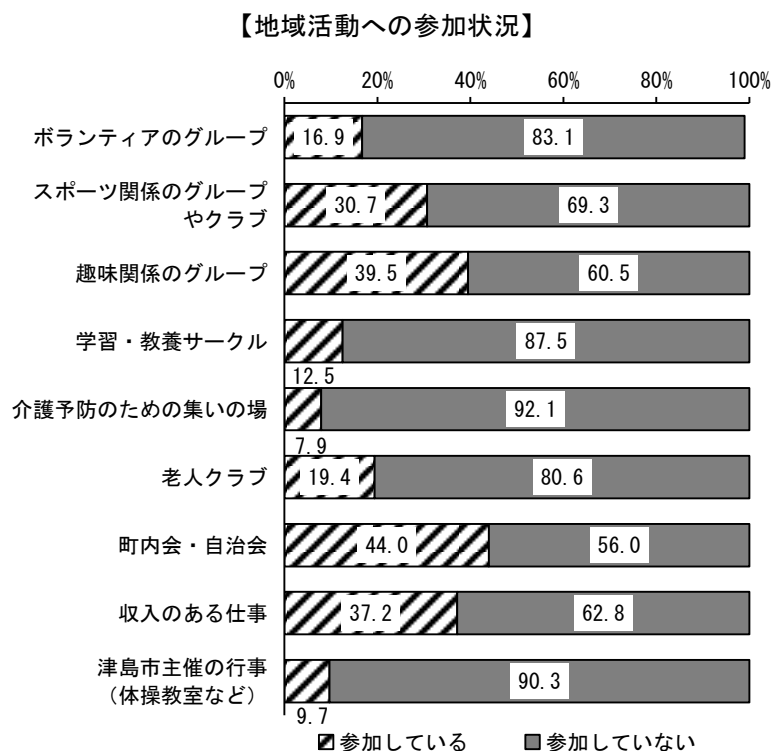
②趣味・生きがい等について

- 趣味について「思いつかない」は 25.9%、生きがいについて「思いつかない」は 41.6%となっています。
- 物忘れ等について、「日課をしなくなった」人は 18.8%、「だらしなくなったと感ずることがある」人は 28.6%となっています。



③地域活動への参加状況

- 地域活動への参加率は、「町内会・自治会」(44.0%)、「趣味関係のグループ」(39.5%)、「収入のある仕事」(37.2%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(30.7%)で3割以上と高く、「津島市主催の行事(体操教室など)」(9.7%)、「介護予防のための集いの場」(7.9%)で1割未満となっています。
- 性・年齢別でみると、「スポーツ関係のグループやクラブ」は 85 歳以上の男性(42.9%)で、「趣味関係のグループ」「津島市主催の行事」は 75~84 歳の女性で、「介護予防のための集いの場」は 75 歳以上の女性で、「老人クラブ」は 75~84 歳の男性(32.5%)で、「収入のある仕事」は 65~74 歳の男性(52.3%)でそれぞれ参加率が最も高くなっています。



		①ボランティアのグループ			②スポーツ関係のグループやクラブ			③趣味関係のグループ			④学習・教養サークル			⑤介護予防のための集いの場			
		件数	参加している	参加していない	件数	参加している	参加していない	件数	参加している	参加していない	件数	参加している	参加していない	件数	参加している	参加していない	
全体		704	119	585	743	228	515	739	292	447	702	88	614	696	55	641	
		100.0	16.9	83.1	100.0	30.7	69.3	100.0	39.5	60.5	100.0	12.5	87.5	100.0	7.9	92.1	
性・年齢別	男性	65～74歳	209	36	173	212	57	155	214	69	145	209	17	192	208	7	201
			100.0	17.2	82.8	100.0	26.9	73.1	100.0	32.2	67.8	100.0	8.1	91.9	100.0	3.4	96.6
		75～84歳	144	27	117	159	54	105	153	73	80	144	15	129	144	8	136
		100.0	18.8	81.3	100.0	34.0	66.0	100.0	47.7	52.3	100.0	10.4	89.6	100.0	5.6	94.4	
	85歳以上	18	3	15	21	9	12	19	5	14	17	1	16	16	1	15	
		100.0	16.7	83.3	100.0	42.9	57.1	100.0	26.3	73.7	100.0	5.9	94.1	100.0	6.3	93.8	
女性	65～74歳	202	29	173	212	70	142	209	77	132	201	35	166	197	14	183	
		100.0	14.4	85.6	100.0	33.0	67.0	100.0	36.8	63.2	100.0	17.4	82.6	100.0	7.1	92.9	
	75～84歳	107	21	86	115	34	81	118	59	59	108	16	92	105	20	85	
	100.0	19.6	80.4	100.0	29.6	70.4	100.0	50.0	50.0	100.0	14.8	85.2	100.0	19.0	81.0		
85歳以上	24	3	21	24	4	20	26	9	17	23	4	19	26	5	21		
	100.0	12.5	87.5	100.0	16.7	83.3	100.0	34.6	65.4	100.0	17.4	82.6	100.0	19.2	80.8		

		⑥老人クラブ			⑦町内会・自治会			⑧収入のある仕事			⑨津島市主催の行事			
		件数	参加している	参加していない	件数	参加している	参加していない	件数	参加している	参加していない	件数	参加している	参加していない	
全体		723	140	583	734	323	411	731	272	459	704	68	636	
		100.0	19.4	80.6	100.0	44.0	56.0	100.0	37.2	62.8	100.0	9.7	90.3	
性・年齢別	男性	65～74歳	209	22	187	211	98	113	216	113	103	208	12	196
			100.0	10.5	89.5	100.0	46.4	53.6	100.0	52.3	47.7	100.0	5.8	94.2
		75～84歳	157	51	106	161	82	79	149	45	104	144	14	130
		100.0	32.5	67.5	100.0	50.9	49.1	100.0	30.2	69.8	100.0	9.7	90.3	
	85歳以上	19	5	14	19	7	12	18	-	18	18	2	16	
		100.0	26.3	73.7	100.0	36.8	63.2	100.0	-	100.0	100.0	11.1	88.9	
女性	65～74歳	202	26	176	204	79	125	211	88	123	198	12	186	
		100.0	12.9	87.1	100.0	38.7	61.3	100.0	41.7	58.3	100.0	6.1	93.9	
	75～84歳	110	29	81	114	50	64	114	26	88	113	24	89	
	100.0	26.4	73.6	100.0	43.9	56.1	100.0	22.8	77.2	100.0	21.2	78.8		
85歳以上	26	7	19	25	7	18	23	-	23	23	4	19		
	100.0	26.9	73.1	100.0	28.0	72.0	100.0	-	100.0	100.0	17.4	82.6		

- 地域づくり活動への参加意向は、参加者として「参加したくない」人は40.3%、企画・運営として「参加したくない」人は67.6%となっています。前回調査比では、参加者として「参加したくない」は5.5ポイント、企画・運営として「参加したくない」は2.3ポイント、それぞれ増加しています。

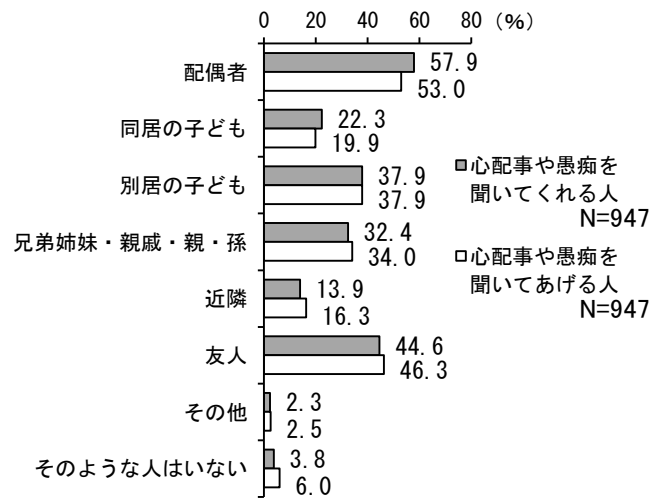
	問5(2) 地域づくり活動への参加意向【参加者として】					問5(3) 【企画・運営として】				
	件数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	件数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している
今回調査 (R1)	938	5.8	49.4	40.3	4.6	930	1.6	27.5	67.6	3.2
前回調査 (H29)	948	9.9	55.3	34.8		946	2.6	32.0	65.3	

④たすけあいについて

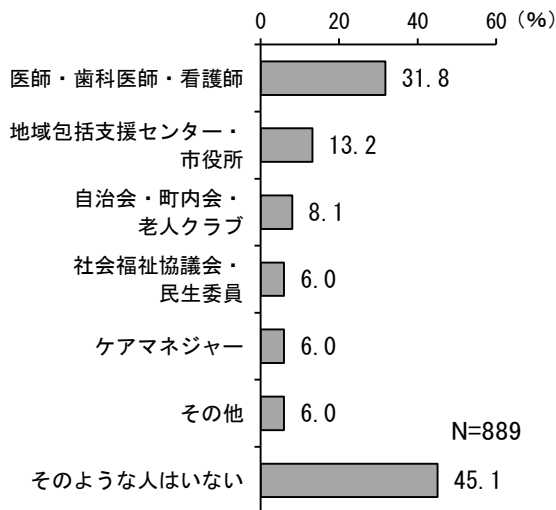
- 「心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人」「心配事や愚痴を聞いてあげる人」とともに、「配偶者」が5割以上で最も高く、次いで「友人」が高くなっています。
- 家族や友人以外の相談相手は、「そのような人はいない」が45.1%で最も高くなっています。
- 友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」（30.8%）が最も高く、『月1回未満』（「年に何度かある」「ほとんどない」の計）は31.0%となっています。

【(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人】

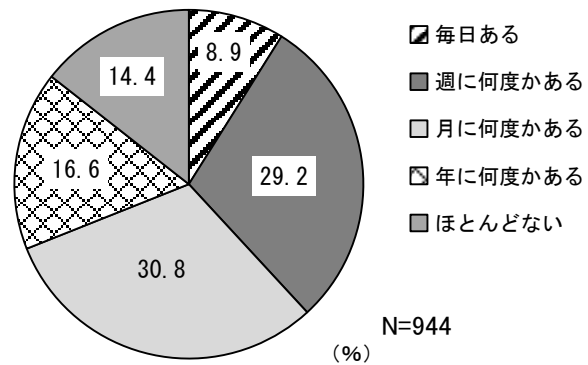
【(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人】



【家族や友人以外の相談相手】



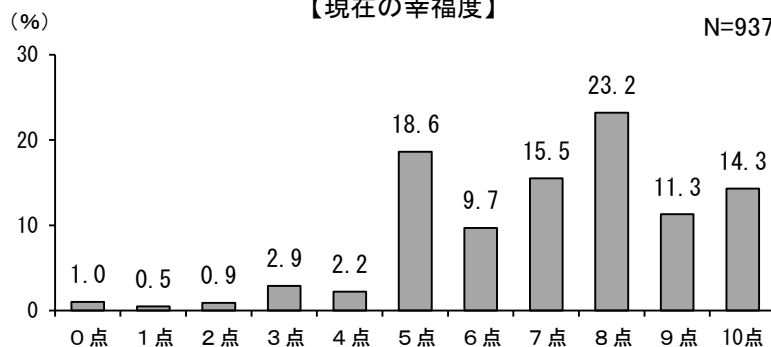
【友人・知人と会う頻度】



⑤健康について

- 現在の幸福度は「8点」（23.2%）が最も高く、8点以上は48.8%、6点以上は74.0%を占めています。

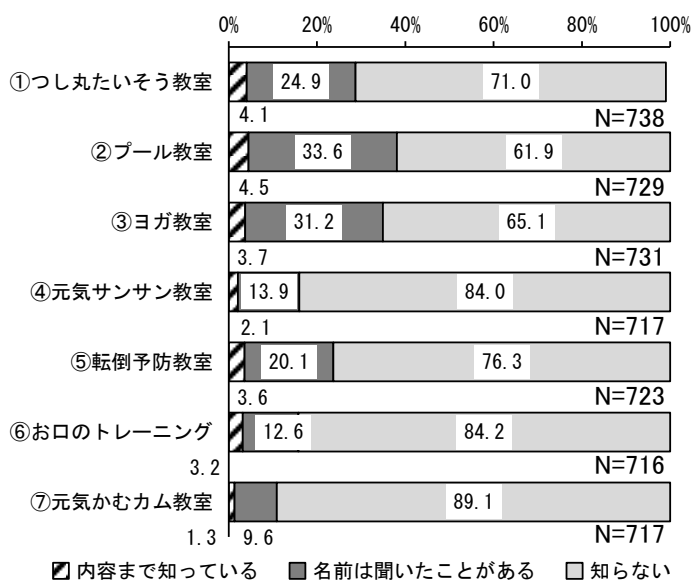
【現在の幸福度】



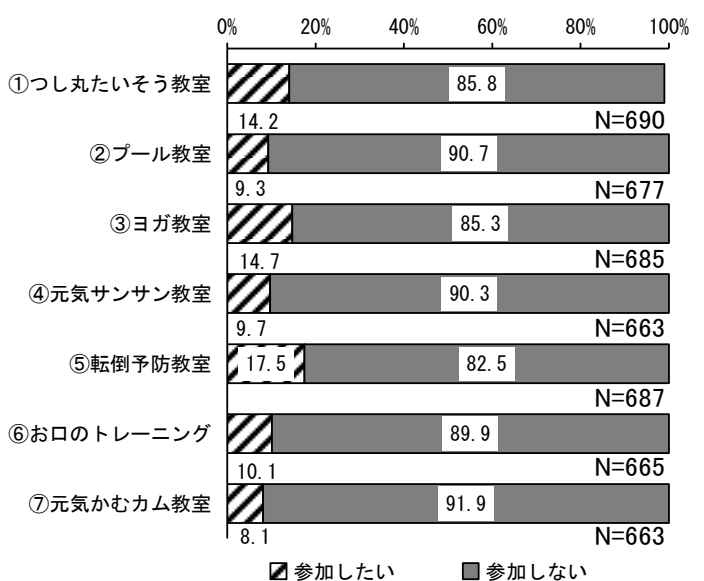
○市開催の教室・講座の理解度と参加意向

- 「内容まで知っている」はいずれの教室・講座においても1割未満となっています。知名度（「内容まで知っている」と「名前は聞いたことがある」の計）は「プール教室」（38.1%）と「ヨガ教室」（34.9%）で高くなっています。
- 参加意向は、「転倒予防教室」（17.5%）で最も高く、次いで「ヨガ教室」（14.7%）、「つし丸たいそう教室」（14.2%）で高くなっています。
- 参加意向について性・年齢別でみると、「プール教室」以外の教室・講座について「参加したい」は65～84歳の男性で低く、75歳以上の女性で高くなっています。

【市の教室・講座の理解度】



【市の教室・講座への参加意向】

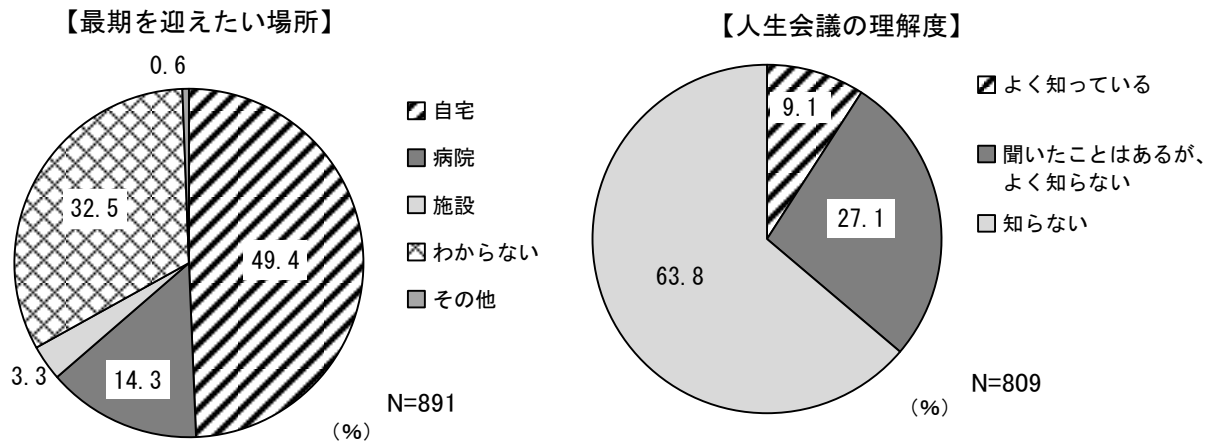


		①つし丸たいそう教室			②プール教室			③ヨガ教室			④元気サンサン教室															
		件数	参加したい (%)	参加しない (%)	件数	参加したい (%)	参加しない (%)	件数	参加したい (%)	参加しない (%)	件数	参加したい (%)	参加しない (%)													
全体		690	100.0	98	14.2	592	85.8	677	100.0	63	9.3	614	90.7	685	100.0	101	14.7	584	85.3	663	100.0	64	9.7	599	90.3	
性・年齢別	男性	65～74歳	204	100.0	15	7.4	189	92.6	207	100.0	17	8.2	190	91.8	206	100.0	14	6.8	192	93.2	206	100.0	13	6.3	193	93.7
		75～84歳	133	100.0	10	7.5	123	92.5	139	100.0	14	10.1	125	89.9	134	100.0	13	9.7	121	90.3	129	100.0	7	5.4	122	94.6
		85歳以上	18	100.0	4	22.2	14	77.8	18	100.0	1	5.6	17	94.4	19	100.0	2	10.5	17	89.5	16	100.0	1	6.3	15	93.8
		女性	65～74歳	200	100.0	36	18.0	164	82.0	192	100.0	23	12.0	169	88.0	199	100.0	46	23.1	153	76.9	188	100.0	25	13.3	163
	75～84歳	107	100.0	27	25.2	80	74.8	96	100.0	7	7.3	89	92.7	102	100.0	20	19.6	82	80.4	97	100.0	10	10.3	87	89.7	
	85歳以上	28	100.0	6	21.4	22	78.6	25	100.0	1	4.0	24	96.0	25	100.0	6	24.0	19	76.0	27	100.0	8	29.6	19	70.4	

		⑤転倒予防教室			⑥お口のトレーニング			⑦元気かむカム教室												
		件数	参加したい (%)	参加しない (%)	件数	参加したい (%)	参加しない (%)	件数	参加したい (%)	参加しない (%)										
全体		687	100.0	120	17.5	567	82.5	665	100.0	67	10.1	598	89.9	663	100.0	54	8.1	609	91.9	
性・年齢別	男性	65～74歳	206	100.0	12	5.8	194	94.2	203	100.0	11	5.4	192	94.6	204	100.0	9	4.4	195	95.6
		75～84歳	134	100.0	15	11.2	119	88.8	130	100.0	6	4.6	124	95.4	129	100.0	5	3.9	124	96.1
		85歳以上	21	100.0	5	23.8	16	76.2	17	100.0	2	11.8	15	88.2	17	100.0	2	11.8	15	88.2
		女性	65～74歳	190	100.0	37	19.5	153	80.5	190	100.0	20	10.5	170	89.5	189	100.0	15	7.9	174
	75～84歳	109	100.0	43	39.4	66	60.6	99	100.0	23	23.2	76	76.8	97	100.0	17	17.5	80	82.5	
	85歳以上	27	100.0	8	29.6	19	70.4	26	100.0	5	19.2	21	80.8	27	100.0	6	22.2	21	77.8	

⑥終末期ケア・人生会議について

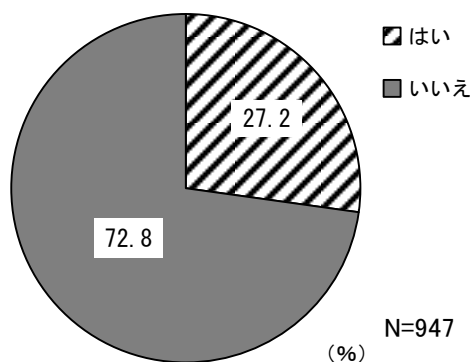
- 最期を迎えたい場所は、「自宅」(49.4%)が最も高く、次いで「わからない」(32.5%)、「病院」(14.3%)、「施設」(3.3%)となっています。
- 人生会議については、「よく知っている」が9.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が27.1%で、知名度は合計36.2%となっています。



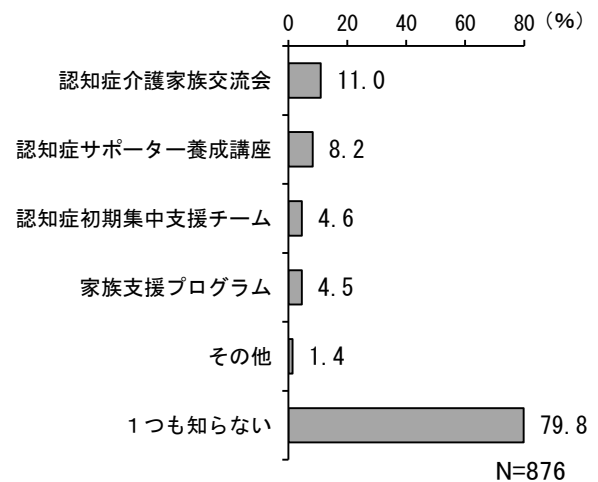
⑦認知症について

- 認知症に関する相談窓口の知名度は、27.2%となっています。
- 津島市の認知症施策で知っている事業は、「1つも知らない」(79.8%)が最も高く、事業では「認知症介護家族交流会」が11.0%、「認知症サポーター養成講座」が8.2%、「認知症初期集中支援チーム」が4.6%、「家族支援プログラム」が4.5%となっています。

【認知症に関する相談窓口の知名度】



【知っている市の認知症施策】



○認知症チェックリストの状況

- 一般高齢者及び要支援者・事業対象者に対して、愛知県及び国立長寿医療研究センターによる「認知症チェックリスト」を参考にした認知症の発症リスクに関する設問を「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」において設置して調査を実施し、回答を集計し、認知症の発症リスクの高い方の人数を調べました。
- 認知症チェックリストの12項目中3項目以上に該当する人は33.9%、4項目以上に該当する人は22.5%となっています。
- 3項目以上該当者の割合は年齢が上がるほど高く、男性より女性で高く、要支援者(50.0%)及び事業対象者(90.0%)で高くなっています。

認知症チェックリストの状況

		件数	4項目以上該当	3項目該当	2項目該当	1項目該当	いずれも該当し	
全体		977	220	111	155	207	284	
		100.0	22.5	11.4	15.9	21.2	29.1	
性・年齢別	男性	65～74歳	246	39	29	43	54	81
			100.0	15.9	11.8	17.5	22.0	32.9
		75～84歳	216	50	25	33	49	59
		100.0	23.1	11.6	15.3	22.7	27.3	
	女性	85歳以上	37	10	6	6	11	4
			100.0	27.0	16.2	16.2	29.7	10.8
65～74歳		241	51	20	36	51	83	
	100.0	21.2	8.3	14.9	21.2	34.4		
認定状況別	要支援1	75～84歳	191	52	26	29	36	48
			100.0	27.2	13.6	15.2	18.8	25.1
	85歳以上	46	18	5	8	6	9	
	100.0	39.1	10.9	17.4	13.0	19.6		
要支援2	事業対象者	11	7	3	1	-	-	
		100.0	63.6	27.3	9.1	-	-	
	認定なし	917	190	105	143	198	281	
		100.0	20.7	11.5	15.6	21.6	30.6	
圏域別	暁・神守	563	130	61	92	120	160	
		100.0	23.1	10.8	16.3	21.3	28.4	
事業案内	天王・藤浪	414	90	50	63	87	124	
		100.0	21.7	12.1	15.2	21.0	30.0	
可	はい	808	181	91	130	170	236	
		100.0	22.4	11.3	16.1	21.0	29.2	
否	いいえ	80	24	6	10	14	26	
		100.0	30.0	7.5	12.5	17.5	32.5	

(2) 在宅介護実態調査

①現在抱えている傷病

- 「認知症」(38.0%)が最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患」(22.8%)、「糖尿病」(21.3%)、「筋骨格系疾患」(21.1%)が2割以上で高くなっています。また、「軽度認知症(MCI)」は14.7%となっています。前回調査比では、「認知症」は8.9ポイント増加しています。

問1(3) 現在抱えている傷病

	件数	認知症	眼科・耳鼻科疾患	糖尿病	粗しょう筋系疾患(骨中)	脳血管疾患(脳卒)	心疾患(心臓病)	I)軽度認知症(MCI)	変形性関節疾患	呼吸器疾患	悪性新生物(がん)	腎疾患(透析)	パーキンソン病	マチ原病(関節リウマチ含む)	難病(パーキンソン病を除く)	その他	なし	わからない
今回調査(R1)	469	38.0	22.8	21.3	21.1	17.9	16.4	14.7	8.7	7.7	5.5	4.7	3.8	2.8	2.1	21.3	0.6	0.6
前回調査(H29)	539	29.1	26.7	17.8	26.5	19.1	17.4	16.0	8.2	3.7	3.3	5.0	4.3	1.9	18.2	2.6	2.0	

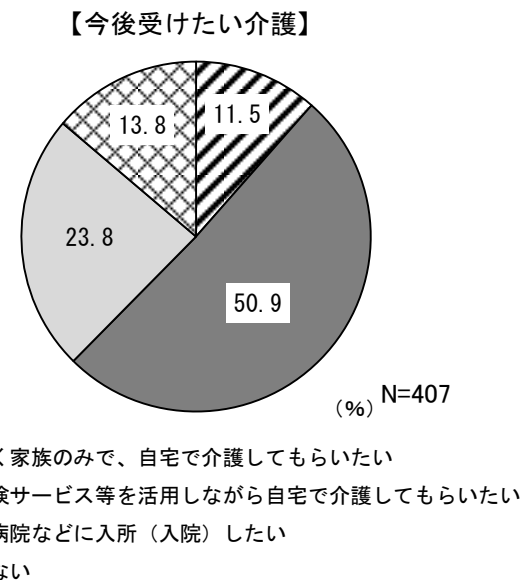
②必要な介護やサービスの利用などについて

- 介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(36.7%)が最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」(26.6%)、「本人にサービス利用の希望がない」(21.5%)が高くなっています。

問2(1)① 介護保険サービスを利用していない理由

	件数	の現状を 利用して はする はなる いほど どビ	た家族 め必 が要 な介 護を する	用本人 の希 望に サ ー ビ ス 利	を具 利 用 す ・ 購 入 の 福 社 用	住 宅 改 修 ・ 福 社 用	方 法 が 手 続 き を 受 け な い	サ ー ビ ス を 受 け な い	が あ っ た サ ー ビ ス に し て 満 意	が 利 用 し 難 い 支 払 う の	、 ス リ ン グ に な ら な い サ ー ビ ス	そ の 他
今回調査 (R1)	79	36.7	26.6	21.5	8.9	7.6	5.1	5.1	5.1	3.8	20.3	
前回調査 (H29)	113	52.2	9.7	20.4	6.2	6.2	7.1	6.2	3.5	14.2		

- 今後受けたい介護は、「介護保険制度のサービスや福祉サービス等を活用しながら自宅で介護してもらいたい」(50.9%)が最も高く、次いで「施設や病院などに入所(入院)したい」(23.8%)が高くなっています。また、「なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい」は11.5%となっています。



- 施設や病院等に入所(入院)したい理由は、「家族に負担をかけたくない(負担になる)から」(33.7%)が最も高く、次いで「自宅では急な容態変化や介護者の都合などの緊急時の対応の面で不安だから」(28.1%)、「ひとり暮らし(または高齢者世帯)で在宅生活に不安を感じるから」(20.2%)、「認知症があるなど、ほとんど24時間介護が必要だから」(19.1%)が高くなっています。
- 前回調査比では、「認知症があるなど、ほとんど24時間介護が必要だから」が10.2ポイント、「家族に負担をかけたくない(負担になる)から」が6.9ポイントそれぞれ増加し、「ひとり暮らし(または高齢者世帯)で在宅生活に不安を感じるから」が8.4ポイント減少しています。

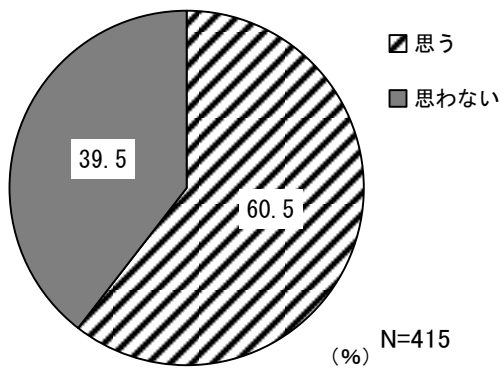
問2(2)① 施設や病院等に入所(入院)したい理由

	件数	家族(負担にかけたく)	家族(負担にかけたく)	家族(負担にかけたく)	家族(負担にかけたく)	家族(負担にかけたく)	家族(負担にかけたく)	家族(負担にかけたく)	家族(負担にかけたく)	家族(負担にかけたく)	家族(負担にかけたく)	家族(負担にかけたく)
今回調査 (R1)	89	33.7	28.1	20.2	19.1	14.6	14.6	12.4	11.2	4.5	1.1	6.7
前回調査 (H29)	112	26.8	32.1	28.6	8.9	20.5	15.2	10.7	13.4	6.3	2.7	2.7

③在宅医療・人生会議について

- 在宅医療の利用意向は 60.5%で、主な介護者が配偶者である場合に 72.5%と高くなっています。

【在宅生活の継続のための在宅医療の利用意向】

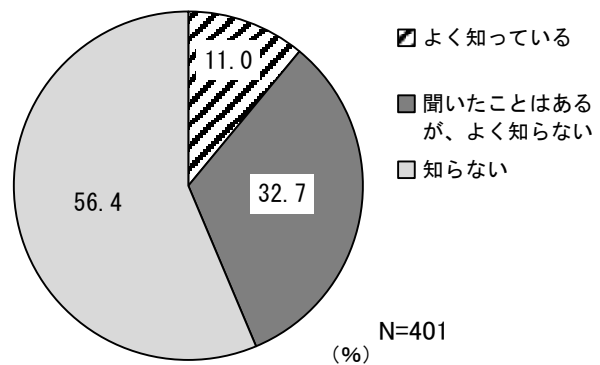


問2(7) 在宅医療の利用意向

	件数	思う	思わない
全体	307	199	108
	100.0	64.8	35.2
主な介護者別	配偶者	102	28
		100.0	72.5
	子	125	48
		100.0	61.6
	子の配偶者	42	17
		100.0	59.5
	孫	1	1
	100.0	-	
兄弟・姉妹	5	2	
	100.0	60.0	
その他	6	3	
	100.0	50.0	

- 人生会議については、「よく知っている」が 11.0%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 32.7%で、知名度は合計 43.7%となっています。

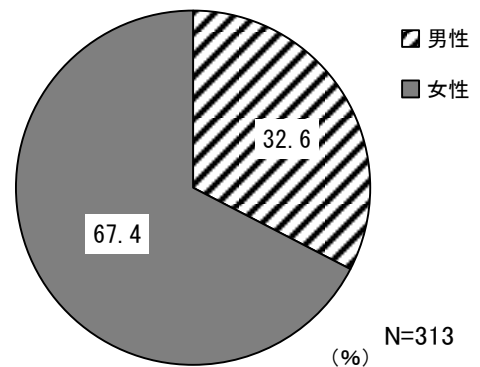
【人生会議の理解度】



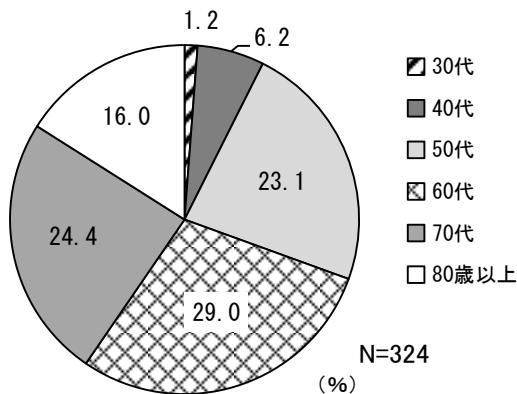
④主な介護者について

- 主な介護者の性別は、「女性」が67.4%、「男性」が32.6%で、女性の割合が男性の約2倍となっています。年齢は、「60代」(29.0%)が最も高く、『70歳以上』(「70代」と「80歳以上」の計)が40.4%を占めています。
- 前回調査比で、『70歳以上』は29.1%から11.3ポイント増加しています。

【主な介護者の性別】



【主な介護者の年齢】



問3 (3) 主な介護者の年齢

	件数	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
今回調査 (R1)	324	-	1.2	6.2	23.1	29.0	24.4	16.0
前回調査 (H29)	312	0.3	0.6	7.1	24.7	38.1	17.6	11.5

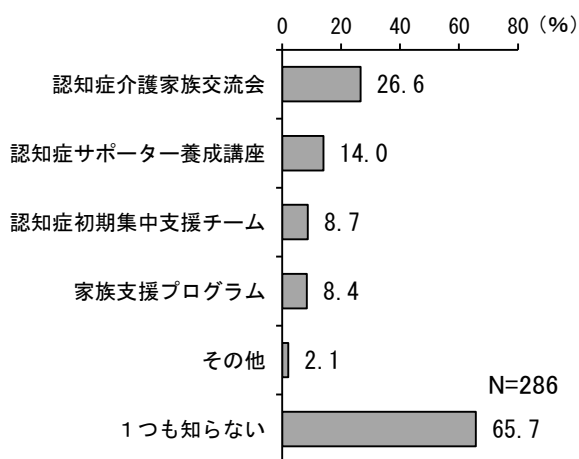
- 現在行っている介護は、[身体介護]の項目では、「外出の付き添い、送迎等」(73.2%)が最も高く、次いで「服薬」(59.1%)、「衣服の着脱」(42.5%)、「認知症状への対応」(35.4%)が高くなっています。
- 前回調査比では、[身体介護]の項目では、「服薬」が10.6ポイント、「認知症状への対応」が9.8ポイントそれぞれ増加しています。

問3 (4) 主な介護者が現在行っている介護等

	件数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	等 外出の付き添い、送迎	服薬	認知症状への対応	栄養、ストーマ等	医療面での対応(経管)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事(掃除、)	要な諸手続き	金銭管理や生活面に必	その他	わからない
今回調査 (R1)	325	28.0	27.4	26.2	26.2	26.8	42.5	29.2	73.2	59.1	35.4	12.3	79.7	84.3	82.5	6.2	0.3			
前回調査 (H29)	305	22.6	18.7	22.0	21.3	25.9	33.1	25.9	72.1	48.5	25.6	10.2	68.2	76.7	74.1	4.3	-			

- 津島市の認知症施策で知っている事業は、「1つも知らない」が65.7%で最も高く、事業では「認知症介護家族交流会」が26.6%、「認知症サポーター養成講座」が14.0%などとなっています。
- 世帯類型別では、「1つも知らない」は単身世帯(72.2%)で高くなっています。

【知っている市の認知症施策】



問3(6) 市が行っている認知症施策の知名度

	件数	交	認	タ	支	ラ	そ	1
		流	知	認	援	家	他	つ
		知	知	知	知	族		も
		会	症	養	チ	支		知
		介	介	成	ー	援		ら
		護	護	サ	初	プ		な
		家	家	講	期	ロ		い
		族	族	座	集	グ		
				！	中			
全体	286	76	40	25	24	6	188	
	100.0	26.6	14.0	8.7	8.4	2.1	65.7	
世帯類型別	単身世帯	54	13	4	4	3	1	39
		100.0	24.1	7.4	7.4	5.6	1.9	72.2
	夫婦のみ世帯	66	18	11	6	6	3	42
	100.0	27.3	16.7	9.1	9.1	4.5	63.6	
その他	163	44	25	15	15	2	105	
	100.0	27.0	15.3	9.2	9.2	1.2	64.4	

⑤ 主な介護者の就労について

- 主な介護者の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が21.8%、「パートタイムで働いている」が18.1%で、『働いている』は合計39.9%となっています。

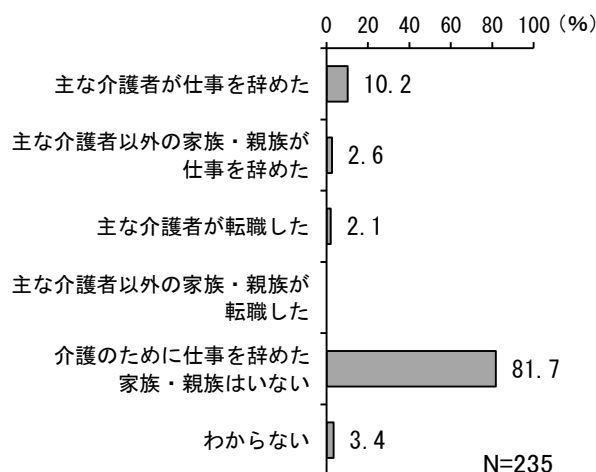
- 就労継続の可否に係る意識は、『続けていくのは難しい』(「続けていくのは、かなり難しい」「続けていくのは、やや難しい」の計)は23.2%となっています。前回調査比では、『続けていくのは難しい』は7.4ポイント増加しています。

問4(1)③ 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

	件数	い	と	や	か	なし
		問	問	続	続	い
		け	か	や	な	な
		題	題	け	け	い
		る	は	て	な	い
		な	あ	い	り	と
		く	て	く	て	な
		、	い	の	い	い
		続	が	は	の	介
		け	け	は	は	護
		て	る	、	、	者
			何			に
						わ
						か
						確
						ら
						認
今回調査 (R1)	116	14.7	60.3	12.9	10.3	1.7
前回調査 (H29)	133	18.0	62.4	10.5	5.3	3.8

- 過去1年間の介護離職の状況については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が81.7%で最も高く、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」は10.2%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた」は2.6%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた」は2.6%となっています。

【過去1年間の介護離職の状況】



(3) 事業者向けアンケート調査

①介護サービスの実施状況と実施予定

- 現在実施しているサービスは「通所介護（デイサービス）」（52.8%）、「通所型サービスA」（41.7%）、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」（38.9%）、「訪問型サービスA」（27.8%）が高くなっています。
- 実施予定のあるサービスは「訪問介護」「訪問型サービスA」の回答があり、実施を検討中のサービスは「(介護予防) 認知症対応型通所介護」（11.1%）、「(介護予防) 訪問看護」（8.3%）、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（5.6%）などとなっています。

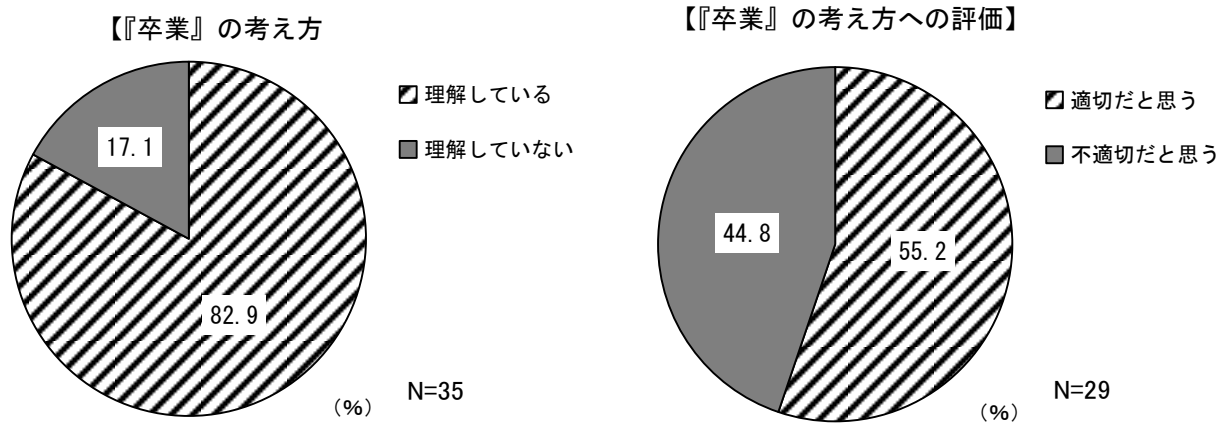
問3 介護サービスの現在の実施状況

	件数 (全体)	訪問介護 (ホームヘルプサービス)	浴介護 (介護予防) 訪問入	護 (介護予防) 訪問看	ハ (介護予防) 訪問リ	養 (介護予防) 居宅療	通 (介護) デイサー	ハ (介護) 通所リ	所 (介護) 短期入	所 (介護) 短期入	設 (介護) 特定施	具 (介護) 福祉用	具 (介護) 福祉用	型 (介護) 随時対	夜 (介護) 訪問介
(現在) 実施している	36 100.0	14 38.9	-	5 13.9	3 8.3	1 2.8	19 52.8	4 11.1	4 11.1	3 8.3	2 5.6	5 13.9	5 13.9	-	-
(現在) 実施していない	36 100.0	17 47.2	27 75.0	22 61.1	24 66.7	26 72.2	13 36.1	23 63.9	24 66.7	24 66.7	26 72.2	23 63.9	23 63.9	27 75.0	28 77.8
(今後) 実施予定	36 100.0	1 2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(今後) 実施の予定はない	36 100.0	15 41.7	26 72.2	19 52.8	23 63.9	26 72.2	11 30.6	23 63.9	23 63.9	24 66.7	26 72.2	23 63.9	23 63.9	24 66.7	25 69.4
(今後) 検討中	36 100.0	1 2.8	1 2.8	3 8.3	1 2.8	-	1 2.8	-	1 2.8	-	-	-	-	2 5.6	1 2.8

	件数 (全体)	地域密着型 通所介護	型 (介護) 認知対	能 (介護) 小規多	型 (介護) 認知対	者 地域密 特定入	地 域密着 型介	施 域密着 型介	介 護小規 多機能 型居宅	看 護複合 型サー	介 護老人 福祉施	介 護老人 保健施	医 療医療 院(介 護療養 型)	訪 問型サー ビスA	通 所型サー ビスA	そ の他
(現在) 実施している	36 100.0	5 13.9	-	-	2 5.6	1 2.8	1 2.8	1 2.8	-	2 5.6	2 5.6	2 5.6	2 5.6	10 27.8	15 41.7	2 5.6
(現在) 実施していない	36 100.0	23 63.9	27 75.0	27 75.0	25 69.4	26 72.2	26 72.2	27 75.0	25 69.4	25 69.4	25 69.4	25 69.4	25 69.4	19 52.8	15 41.7	-
(今後) 実施予定	36 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 2.8	-	-
(今後) 実施の予定はない	36 100.0	21 58.3	22 61.1	26 72.2	23 63.9	24 66.7	25 69.4	26 72.2	24 66.7	24 66.7	24 66.7	24 66.7	24 66.7	16 44.4	13 36.1	-
(今後) 検討中	36 100.0	1 2.8	4 11.1	-	1 2.8	1 2.8	-	-	-	-	-	-	-	1 2.8	1 2.8	-

②総合事業における『卒業』の考え方に対する評価

- 「理解している」が82.9%を占めています。また、理解している事業者は『卒業』の考え方について「適切だと思う」が55.2%となっています。



- 『卒業』の考え方が不適切だと思う理由については、下記のような意見をいただきました。

No.	内容	件数
1	卒業後のフォローアップの整備が不十分。	4
2	卒業後、交流や外出がなくなり、状態の低下が不安である。	3
3	「卒業」の基準が不明瞭であり、判断が難しい。	3
4	6か月では期間が短く、一律に目標とできるかも疑問。	2
5	利用したい理由が様々である。	1
6	利用者は高齢化するので、現状維持がやっとだと思う。	1
7	中味が充実しておらず、専門性がない。	1
8	利用者がどのようにしたら在宅生活が継続できるか、介護度が上がらずにいけるか、分けて考えることが大切。	1

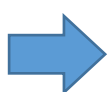
- どのようなサービスが必要かについては、下記のような意見をいただきました。

No.	内容	件数
1	訪問+通所の組み合わせにより、在宅での課題をよりクリアできるサービスが必要。	1
2	外出支援サービス。	1
3	通所Aを卒業してBのサロンに参加するための交通手段や、参加継続のための支援者。	1
4	介護給付は5名単位の人員配置であり、介護給付と予防給付の同一時間提供では、予防給付も5名の定員設定が求められ、1～2名の総合事業枠は現実的ではない。	1

(4) 調査結果のまとめ

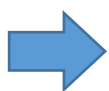
1 在宅生活の継続の状況

- ・在宅介護の希望者…約5割
- ・介護保険サービスを未利用の理由
…「介護をしてくれる家族がいること」が増加（前回調査比）
- ・在宅生活継続に必要な支援
…「介護をしてくれる家族がいること」が増加（前回調査比）
- ・在宅医療の利用意向…約6割
- ・人生会議の知名度…要介護者：4割強、一般高齢者：4割弱
理解度…ともに約1割
- ・「最期を迎えたい場所」…「自宅」：約5割、「病院・施設」：1割前後



在宅での家族介護の意向が増加
在宅生活を継続し最期も自宅で迎えたいと考えている人が多い

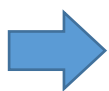
- ・在宅の要介護者の主な介護者…女性：7割弱、年齢：70歳以上が約4割
↑70歳以上の割合は、10ポイント以上増加（前回調査比）
- ・働いている介護者…約4割
- ・介護を理由とする離職者…1割強
- ・就労継続の可否…「(働きながらの介護を) 続けていくのは難しい」：2割強



要介護者とともに介護者も高齢化している
家族の介護を抱えても働き続けられるよう、受け皿となる介護保険サービスの整備を一層進めていくことが必要

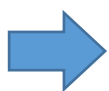
2 認知症施策の状況

- ・在宅の要介護者が抱えている傷病…「認知症」：約4割、「軽度認知症」：1割強
 - ・施設等に入所したい理由…「認知症があるなどで24時間介護が必要」
 - ・主な介護者が現在行っている介護…「認知症状への対応」
- 約10ポイント以上増加
- ・認知症の相談窓口の知名度…3割弱
 - ・市で実施している認知症施策の知名度
…「1つも知らない」：一般高齢者 約8割、要介護者の主な介護者 7割弱
- 「家族支援プログラム」、「認知症初期集中支援チーム」の知名度…1割未満
特に、単身世帯での知名度が低い



認知症への対応が近年大きな課題
認知症の早期発見と予防の考え方を含め広く周知・啓発することが必要

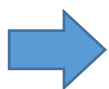
- ・認知症チェックリストの状況…12項目中3項目以上の該当者：3人に1人
↑年齢と比例して高く、男性より女性で高い



認知症の発症リスクの疑われる方に対して、適切な認知症施策に慎重にならなければならない
支援する取組が必要

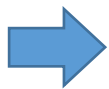
3 介護予防事業をとりまく状況

- ・「介護予防のための集いの場」や「津島市主催の行事（体操教室など）」への参加率
…いずれも1割未満。75歳以上の女性の参加率が高い
- ・市が開催する教室・講座の知名度
…プール・ヨガ・体操の教室：約3割、転倒予防教室：2割強、その他教室：約1割
参加意向：いずれも約1～2割
↑75歳以上の女性の参加意向が高く、65～84歳の男性で低い



男性及び65～74歳の女性に対する参加への呼びかけが必要

- ・一般高齢者が外出を控えている理由
…「トイレの心配」と「交通手段がない」：大きく増加（前回調査比）
- ・主要な移動手段…以下の割合が高い
 - 男性
65～84歳：自動車（自分で運転）
85歳以上：徒歩、タクシー、歩行器
 - 女性
65～74歳：自動車（自分で運転）
75～84歳：徒歩
85歳以上：自動車（同乗）、タクシー、歩行器
- ・主な移動手段を用いて行きにくい場
…①「病院・薬局等」 ②「日常的な買い物」 ③「地域の講座や教室」

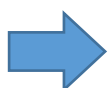


高齢者の移動手段の確保は社会参加の状況に直結する重要な課題

- ・介護予防・日常生活支援総合事業における『卒業』の考え方
…理解している事業者：8割強、「不適切」と考えている事業者：4割強
〔理由：「卒業後のフォローアップの整備が不十分」
「卒業後、交流や外出がなくなり、状態の低下が不安」など〕

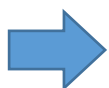
4 生きがいづくり・社会参加の状況

- ・毎日の生活
趣味関係グループへの参加率：約4割、スポーツ関係グループの参加率：約3割
⇔趣味を思いつかない人：3割弱、生きがいを思いつかない人：約4割
だらしなくなってきたと感じる人：約3割、日課をしなくなった人：約2割



元気に社会参加している高齢者が存在する一方、元気を失いかけた生活を送っている高齢者も存在する

- ・地域での助け合い…心配事や愚痴を言い合える人：①配偶者 ②友人
⇔家族・友人以外の相談相手がいない：5割弱
- ・友人と会う頻度が月1回未満の人…約3割



友人・知人と会う機会となる場を提供する取組が必要